

# 幕別町の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
22年度	27,461 人	14,100,581 千円	149,929 千円	2,055,164 千円	14.6 %	13.8 %

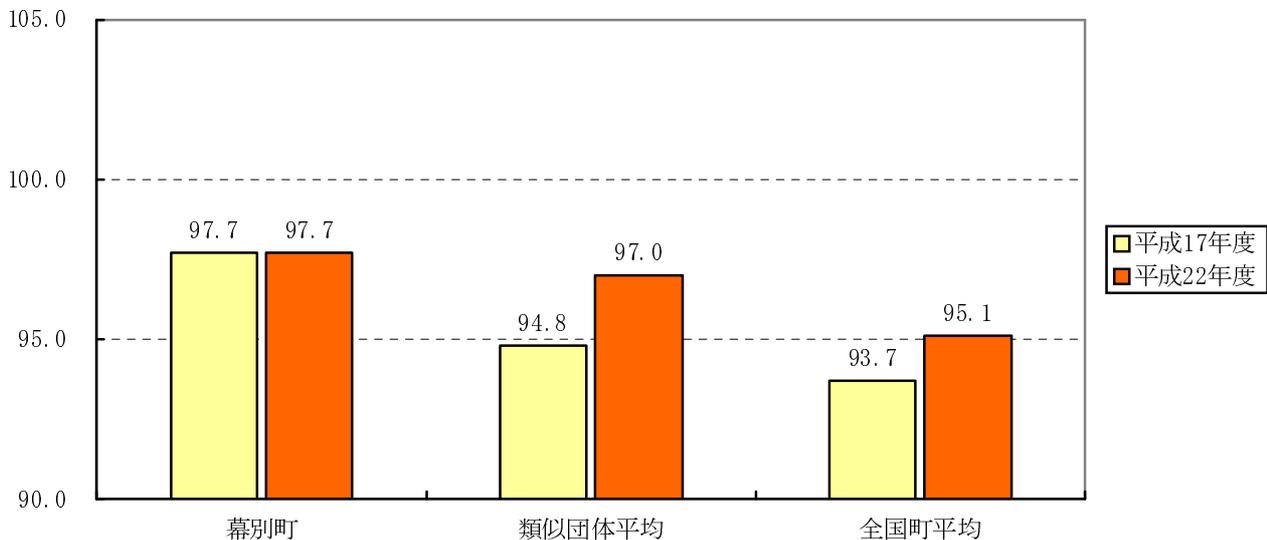
### (2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
22年度	225 人	888,298 千円	205,333 千円	321,883 千円	1,415,514 千円	6,292 千円	— 千円

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成22年4月1日現在の人数です。

### (3) 特記事項 特になし。

### (4) ラスパイレス指数の状況 (各年4月1日)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

## 2 一般行政職給料表の状況（平成23年4月1日現在）

（単位：円）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の給料月額	243,700	309,200	356,400	390,100	402,500	424,600

（注）給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。

## 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

（1）職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成23年4月1日現在）

### ① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
幕別町	44.0歳	331,771円	415,231円	369,399円
北海道	—歳	—円	—円	—円
国	42.3歳	327,205円	—円	397,723円
類似団体	—歳	—円	—円	—円

### ② 技能労務職 ※該当なし

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	A/B
幕別町	—歳	0人	—円	—円	—円	—	—	—	—
うち、自動車運手	—歳	0人	—円	—円	—円	自家用自動車 運転者	—歳	—円	—
北海道	—歳	—人	—円	—円	—円	—	—	—	—
国	—歳	—人	—円	—	—円	—	—	—	—
類似団体	—歳	—人	—円	—円	—円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
幕別町	—	—	—
うち、自動車運手	円	円	

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。（平成20～22年の3ヵ年平均）

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

### ③ 教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
幕別町	46.10歳	354,546円	463,611円
北海道	—歳	—円	—円
類似団体	—歳	—円	—円

（注）各欄中「—」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況(平成23年4月1日現在)

区分		幕別町	北海道	国
一般行政職	大学卒	172,200円	－円	－円
	高校卒	140,100円	－円	－円
技能労務職	高校卒	140,100円	－	－
教育職	大学卒	172,200円	－	－
	高校卒	140,100円	－	－

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成23年4月1日現在)

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	273,400円	310,600円	359,075円
	高校卒	－円	265,325円	303,750円
技能労務職	高校卒	－円	－円	－円

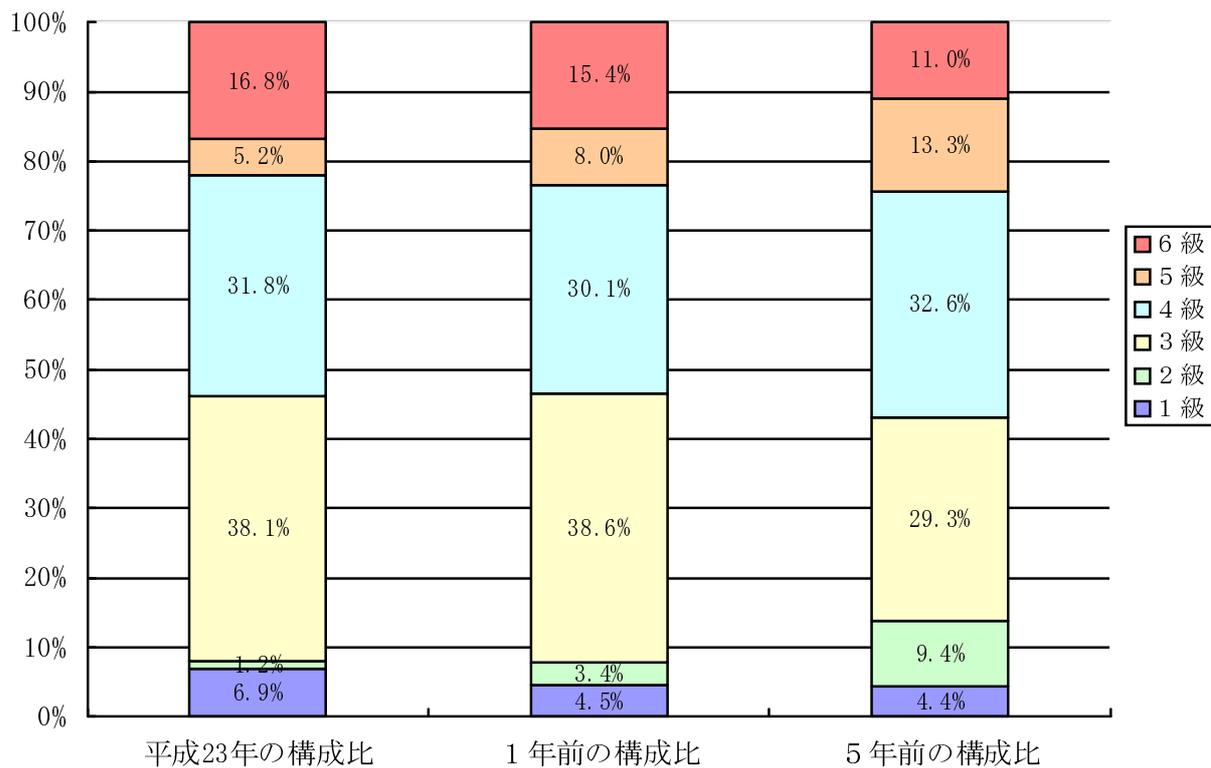
#### 4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(平成23年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事、技師、保育士、保健師、栄養士又は教諭の職務 主事補又は技師補の職務	12人	6.9%
2級	主任の職務	2人	1.2%
3級	主査の職務	66人	38.1%
4級	主幹、次長又は場長の職務 係長、副主幹、保育所長、保育士長、技師長又は教諭長の職務 特に困難な業務を行う主査の職務	55人	31.8%
5級	課長、参事、所長、館長、農業委員会事務局長、監査委員事務局長の職務 重要な業務を行う主幹、次長、場長の職務	9人	5.2%
6級	部長、室長、会計管理者、支所長、議会事務局長の職務 重要な業務を行う課長、参事、所長、館長、農業委員会事務局長、監査委員事務局長の職務	29人	16.8%

(注) 1 幕別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

実施していない。

(注) 各欄中「-」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

## 5 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当

幕別町	北海道	国
1人当たり平均支給金額(平成22年度) 1,461千円	1人当たり平均支給金額(平成22年度) —千円	—
(平成22年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(平成22年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(平成22年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職務の級による加算措置 役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%~20% 管理職加算 10%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%~20% 管理職加算 10%~25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

### 【参考】 勤勉手当への勤務成績の反映状況 (一般行政職)

実施していない。
----------

### (2) 退職手当 (平成23年4月1日現在)

幕別町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算	
1人当たり平均支給額	—千円	24,893千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

### (3) 時間外勤務手当 (普通会計決算)

支給実績 (平成22年度決算)	79,733千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)	366千円
支給実績 (平成21年度決算)	80,947千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成21年度決算)	368千円

(注) 各欄中「—」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

## (4) その他の手当 (平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)
扶養手当	①配偶者 13,000円 ②配偶者以外 6,500円 (配偶者がいない場合 11,000円) ③15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子 加算 5,000円	同じ		30,507千円	231,114円
住居手当	①持家の場合 14,000円 ②家賃の額が12,000円を超える借家の場合 27,000円を限度として 家賃の額に応じた額	異なる	持家に対する支給額	30,979千円	192,414円
通勤手当	①交通機関利用者 55,000円(限度) ②自動車等使用者 通勤距離に応じ 2,000円～24,500円(40km以上20%加算あり)	異なる	通勤距離が40km以上の場合、現行の額に20%加算	14,348千円	100,337円
管理職手当	定額支給 ・部長職 62,000円 ・課長職 49,600円又は47,000円 ・課長補佐職 39,200円又は37,500円	同じ		26,910千円	597,991円
寒冷地手当	11月から翌年3月まで、基準日における世帯区分等に応じ、月額10,340円～26,380円	同じ		22,130千円	103,410円

(注) 各欄中「—」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

6 特別職の報酬等の状況（平成23年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	町長	830,000円	(参考)類似団体における最高/最低額（平成22年度） 911,000円/ 386,000円	
	副町長	684,000円	750,000円/ 441,000円	
報酬	議長	323,000円	499,000円/ 227,000円	
	副議長	258,000円	430,000円/ 182,000円	
	議員	212,000円	400,000円/ 157,000円	
期末手当	町長 副町長	(平成22年度支給割合) 3.95月分		
	議長 副議長 議員	(平成22年度支給割合) 3.95月分		
退職手当	町長 副町長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
		給料月額×在職年数×5.126 給料月額×在職年数×3.234	17,018,320円 8,848,224円	任期毎 任期毎

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

7 職員数の状況

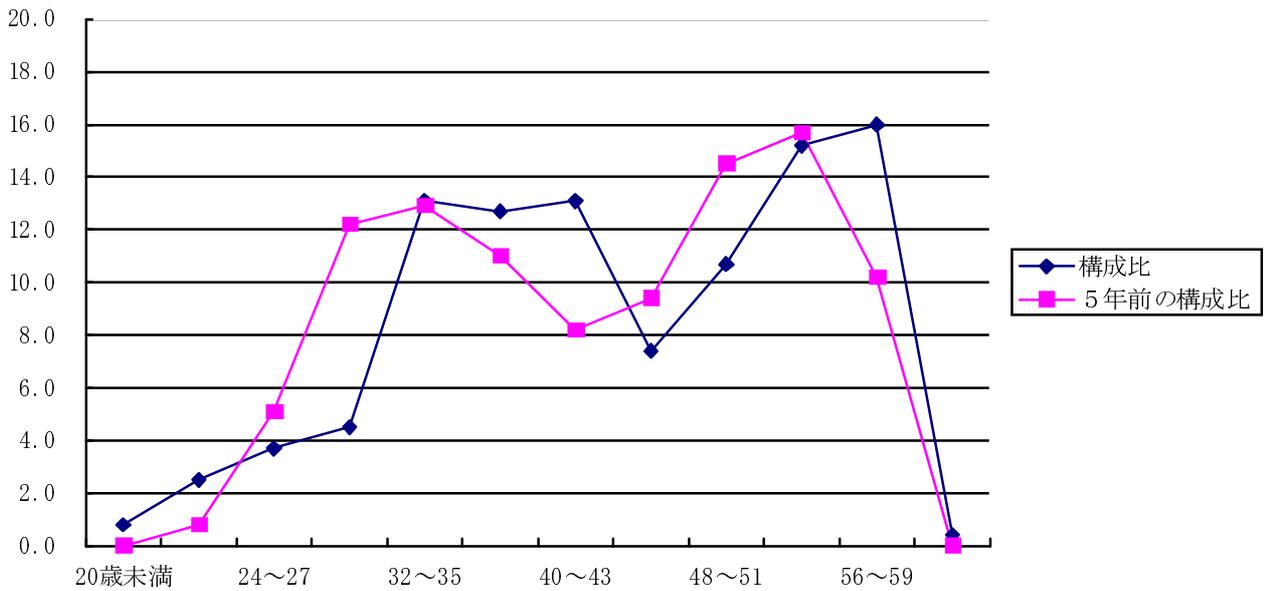
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門		区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
			平成22年	平成23年		
普通会計部門	一般行政部門	議 会	4	4	0	事務の統廃合
		総 務	54	53	-1	
		税 務	12	12	0	
		労 働	1	1	0	
		農林水産	28	28	0	
商 工		5	5	0	事務の統廃合	
土 木		25	24	-1		
民 生		54	52	-2		
衛 生		14	15	1	事務の統廃合	
		計	197	194	-3	<参考> 人口1万人当たりの職員数 70.65人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 一人)
	教育部門	29	27	-2	事務の統廃合	
	小 計	226	221	-5	<参考> 人口1万人当たりの職員数 80.48人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 一人)	
公営企業等 会計部門	水 道	5	5	0		
	下水道	4	4	0		
	その他	14	14	0		
	小 計	23	23	0		
合 計		249 [ 283 ]	244 [ 283 ]	-5 [ 0 ]	<参考> 人口1万人当たりの職員数 88.85人	

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。  
 2 [ ]内は、幕別町職員定数条例の職員数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成23年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	2人	6人	9人	11人	32人	31人	32人	18人	26人	37人	39人	1人	244人

(3) 職員数の推移

部門別 \ 年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	過去5年間の増減数(率)
一般行政職	210	207	202	199	197	194	△16 (△7.6%)
教育	42	38	33	31	29	27	△15 (△35.7%)
普通会計計	252	245	235	230	226	221	△31 (△12.3%)
公営企業等会計計	22	20	23	23	23	23	1 (4.5%)
総合計	274	265	258	253	249	244	△30 (△10.9%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

## 8 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 21年度の総費用に占める 職員給与費比率
22年度	千円 616,028	千円 48,156	千円 21,355	% 3.5	% 3.4

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村 平均一人当た り給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
22年度	人 3	千円 14,028	千円 2,283	千円 5,044	千円 21,355	千円 7,118	千円 —

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、平成23年3月31日現在の人数です。

##### イ 特記事項

特になし。

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（平成23年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
幕別町	50.10歳	370,322円	424,440円
団体平均	—歳	—円	—円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

幕別町		団体平均	
1人当たり平均支給額（平成22年度） 1,681千円		1人当たり平均支給額（平成22年度） —千円	
(平成22年度支給割合)		(平成22年度支給割合)	
期末手当 2.60月分 (1.45)月分	勤勉手当 1.35月分 (0.65)月分	期末手当 —月分 (—)月分	勤勉手当 —月分 (—)月分
(加算措置の状況) 職務の級による加算 5～15%		(加算措置の状況)	

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合です。

イ 退職手当 (平成23年4月1日現在)

幕別町			団体平均		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	一月分	一月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	一月分	一月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	一月分	一月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	一月分	一月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算		その他の加算措置		
1人当たり平均支給額	(退職者なし)				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 時間外勤務手当

支給実績 (平成22年度決算)	344千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)	115千円
支給実績 (平成21年度決算)	848千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成21年度決算)	283千円

(注) 時間外勤務手当には休日勤務手当を含む。

エ その他の手当 (平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (平成22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)
扶養手当	①配偶者 13,000円 ②配偶者以外 6,500円 (配偶者がない場合 11,000円) ③15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子加算 5,000円	同じ		710千円	236,667円
住居手当	①持家の場合 14,000円 ②家賃の額が12,000円を超える借家の場合 27,000円を限度として家賃の額に占じた額	同じ		600千円	200,000円
通勤手当	①交通機関利用者 55,000円 (限度) ②自動車等使用者 通勤距離に応じ 2,000円~24,500円 (40km以上20%加算あり)	同じ		349千円	116,400円
管理職手当	定額支給 ・部長職 62,000円 ・課長職 49,600円又は47,000円 ・課長補佐職 39,200円又は37,500円	同じ		594千円	594,153円
寒冷地手当	11月から翌年3月まで、基準日における世帯区分等に応じ、月額10,340円~26,380円	同じ		396千円	131,900円

(注) 各欄中「-」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。